

# 四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

## 談話室 Vol.65

### 甦れ 聖なる川

香川県 琴平町長  
やました  
山下 まさおみ  
正臣



琴平町は、香川県の中西部に位置し、「讃岐の  
こんぴらさん」の門前町として全国に知られ、全  
国各地から年間 300 万人の観光客を集める観光の  
まちである。と同時に、地域の中心地として古く  
から発展し、独自の文化を育んできた町である。

市街地の中央部に二級河川<sup>かなくらがわ</sup>金倉川が流れて  
いる。金倉川は阿讃山麓に源を発し、途中、弘法大  
師が修築したといわれる日本一の灌漑用ため池  
の満濃池を経て、まんのう町、琴平町、善通寺市、  
丸亀市を流下し、瀬戸内海に注ぐ流長 20.5km の  
河川である。

金倉川は江戸の昔より、こんぴら信仰と深く拘  
りのある聖なる川であった。

こんぴら詣りの旅人は琴平に到着すると、長旅  
の汚れを金倉川で<sup>みそぎ</sup>禊<sup>みそぎ</sup>を行い、身を洗い清めて、  
こんぴらさんに参拝していたのである。別名「禊  
川」の所以でもある。

その金倉川も、戦後間もない昭和 20 年頃まで  
は、子供達の遊泳の場であったが、徐々に水質汚  
濁が進行し、ゴミ投棄物が浮遊する劣悪な環境の  
河川へと変貌していったのである。

平成 8 年頃、1 枚の写真が住民の意識を目覚め

させた。県庁ロビーで行われた環境展で特選にな  
った写真である。「川が泣いている」と題した写真  
は、琴平町の中心部を流れる金倉川に浮遊する不  
法投棄物のアップ写真であった。頭部顔面に大き  
な一撃を受けた思いであった。以来住民と行政が  
一体となった環境美化運動が活発に展開された。  
県も動いた。護岸、河床整備等ハード事業が年次  
的に進められ、河川公園も中心部に誕生した。住  
民総参加のクリーン作戦が定期的に行われ、住民  
ボランティアによる巡回パトロールの実施、県と  
流域市町連合による「クリーンリバー金倉」の設  
立、一斉クリーン作戦展開と確実に運動の輪が拡  
大された。

徐々にではあるが、聖なる川は着実に甦りを見  
せている。

琴平町では民間団体の手によって、毎年 8 月 15  
日の夜、金倉川に於いて、戦没者慰霊・平和祈願  
灯ろう流しが行われ、夏の夜の風物詩として定着  
している。人々の暮らしと密接な関わりを持ち、  
多くの旅人を癒す聖なる川、河川の持つ多面的機  
能を改めて見直し、私達の今果すべき役割をしっ  
かりと見極めてまいりたい。



こんぴら詣りの風景



クリーン作戦



戦没者慰霊・平和祈願灯ろう流し